

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 義務教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム		
施策名	【重点】キャリア教育の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
			目標値	67.0	68.0	69.0
現況値	65.9% (2019年度調査)	実績値	61.3	61.1		
目標値	70.0%	達成率	91.5%	89.9%		
備考		達成度	3	3		

指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
			目標値	45.5	47.0	48.5
現況値	44.1% (2019年度調査)	実績値	42.2	41.6		
目標値	50.0%	達成率	92.7%	88.5%		
備考		達成度	3	3		

指標名	インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合	年度	2021	2022	2023	2024
			目標値	97.0	98.0	99.0
現況値	95.3% (2019年度)	実績値	88.2	80.6		
目標値	100.0%	達成率	90.9%	82.2%		
備考		達成度	3	3		

3 関連する事業名

- ・岡山型課題解決型学習(PBL)ガイドブック作成事業
- ・「君に届け!」夢への架け橋事業
- ・おかやま夢発信・交流事業
- ・高等学校でのインターンシップ推進
- ・高校生キャリアサポート事業
- ・SDGsの取組を進める企業等との連携による探究的な学びの推進
- ・高校生探究フォーラム

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>課題解決型学習である「岡山型PBL」の考え方や学習過程をまとめたガイドブックを作成して県内公立小・中学校等に配付した。また、岡山県に縁のある各分野で活躍する方や地域で貢献している方からの、小・中学生に向けた夢の実現に向けたメッセージ動画を制作し、YouTubeチャンネル「夢ボイス」を開設して公開することにより、将来の夢や目標を持つ児童生徒の育成を図った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響は残っていたものの、インターンシップや企業訪問等の機会の増加、ジョブフェア等を通じて高校生に対して県内事業所等の情報を得る機会を提供したことにより、希望者の就職決定率を高い水準で維持することができた(2022年度:98.3%)。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>小・中学校におけるキャリア教育のさらなる推進に向け、好事例の普及を図るとともに、学校・家庭・地域・企業等が連携し、「岡山型PBL」などの指導内容、指導方法等の工夫を図りながら、発達段階に応じ、学校の教育活動全体を通じた体系的なキャリア教育を推進する必要がある。</p> <p>また、ポストコロナ期において高校生に対してさらなるキャリア教育の推進を図るため、キャリア教育の場の提供をより一層進めていく必要がある。そのため、インターンシップや企業訪問の充実、経済6団体との包括連携協定に基づく仕組みも活用した企業との連携をより積極的に図る必要がある。</p>
--

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名

担当部課室 教育委員会 義務教育課

重点戦略	I 教育県岡山の復活
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム
施策名	【重点】子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	67.0	68.0	69.0	70.0
現況値	65.9% (2019年度調査)	実績値	61.3	61.1		
目標値	70.0%	達成率	91.5%	89.9%		
備考		達成度	3	3		

指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	45.5	47.0	48.5	50.0
現況値	44.1% (2019年度調査)	実績値	42.2	41.6		
目標値	50.0%	達成率	92.7%	88.5%		
備考		達成度	3	3		

指標名	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	+1	+1	+1	+1
現況値	-1ポイント (2019年度調査)	実績値	±0	-1		
目標値	+1ポイント	達成率	※-%	※-%		
備考		達成度	※3	※3		

指標名	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	+1	+1	+1	+1
現況値	±0ポイント (2019年度調査)	実績値	±0	±0		
目標値	+1ポイント	達成率	※-%	※-%		
備考		達成度	※3	※3		

指標名	授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	72.3	72.5	72.7	73.0
現況値	72.1% (2019年度調査)	実績値	67.1	63.8		
目標値	73.0%	達成率	92.8%	88%		
備考		達成度	3	3		

指標名	授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	66.4	67.6	68.8	70.0
現況値	64.6% (2019年度調査)	実績値	64.9	60.8		
目標値	70.0%	達成率	97.7%	89.9%		
備考		達成度	3	3		

3 関連する事業名

- ・主体的な学びの基盤づくり事業
- ・家庭学習指導の推進

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

小・中学校に支援員を配置することにより、放課後をはじめ朝学習や休憩時間等の補充学習を充実させ、児童生徒の基礎学力の定着や授業以外における学習時間の確保を図った。

また、家庭学習のスタンダード・増補版に基づき、初任者等に家庭学習に関する組織的な指導の徹底を働きかけるとともに、家庭に対しても、1人1台端末活用の視点も踏まえて改訂した家庭用資料を提示し、家庭学習の意義等について普及・啓発した。

6 今後の施策推進に向けての課題

学習習慣の確立・学習内容の定着については課題が残っており、学力の定着が不十分な児童生徒の学習意欲の向上を図るとともに、授業の質の向上や補充学習の充実を図る必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 義務教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム		
施策名	【重点】教師の授業力の向上		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	67.0	68.0	69.0	70.0
現況値	65.9% (2019年度調査)	実績値	61.3	61.1		
目標値	70.0%	達成率	91.5%	89.9%		
備考		達成度	3	3		

指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	45.5	47.0	48.5	50.0
現況値	44.1% (2019年度調査)	実績値	42.2	41.6		
目標値	50.0%	達成率	92.7%	88.5%		
備考		達成度	3	3		

指標名	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	+1	+1	+1	+1
現況値	-1ポイント (2019年度調査)	実績値	±0	-1		
目標値	+1ポイント	達成率	※-%	※-%		
備考		達成度	※3	※3		

指標名	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	+1	+1	+1	+1
現況値	±0ポイント (2019年度調査)	実績値	±0	±0		
目標値	+1ポイント	達成率	※-%	※-%		
備考		達成度	※3	※3		

指標名	「授業の内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合 (小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	83.7	84.2	84.6	85.0
現況値	82.9% (2019年度調査)	実績値	81.7	83.2		
目標値	85.0%	達成率	97.6%	98.8%		
備考		達成度	3	3		

指標名	「授業の内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合 (中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	74.7	75.2	75.6	76.0
現況値	73.9% (2019年度調査)	実績値	79.7	77.3		
目標値	76.0%	達成率	106.7%	102.8%		
備考		達成度	4	4		

3 関連する事業名

- ・岡山県学力・学習状況調査
- ・授業改革支援事業
- ・教師業務アシスタント配置事業
- ・ICT支援員配置事業
- ・部活動指導員配置事業

4 施策達成レベル

3.2

生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

学校経営アドバイザー等による学校訪問を通じて管理職のビジョンと戦略を支援するとともに、授業改革推進リーダー・推進員の配置、全国及び県学力・学習状況調査結果の分析に基づく課題に焦点化した取組、教師業務アシスタントや部活動指導員の活用による教員の負担軽減と学習指導時間の確保、専門的知識を有するICT支援員の配置による児童生徒1人1台端末の活用支援を行うことにより、授業改善や校内指導体制の確立に取り組み、児童生徒への学習指導の充実を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

学校経営アドバイザー等による学校訪問を通じて、全ての小・中学校において学校経営アクションプランに基づいた組織的な取組を一層推進する必要がある。また、全国及び県学力・学習状況調査結果の分析に基づく取組や、授業改革推進リーダー・推進員の県下全域への継続配置などを通じて授業改革や校内指導体制の確立を図るなど、授業の質の向上に向けた取組の強化とともに、GIGAスクール構想実現に向けた各校の取組への支援を、ICT支援員の配置等を実施することにより、迅速かつ効率的に行う必要がある。併せて、教員の負担軽減及び学習指導に専念できる時間を確保できるよう、引き続き、外部人材の確保をはじめ有効な活用事例の普及を図る必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 義務教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム		
施策名	【推進】就学前教育の質の向上		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	就学前教育に関する研修への延べ参加人数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2,500	2,500	2,500	2,500
現況値	2,456人(2019年度)	実績値	1,917	2,206		
目標値	2,500人	達成率	76.7%	88.2%		
備考		達成度	※1	※2		

3 関連する事業名

- ・就学前教育推進プロジェクト
- ・就学前の非認知能力育成支援事業

4 施策達成レベル

2.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

県教委に就学前教育スーパーバイザーを配置し、保幼小接続スタンダードの徹底や各市町村における保幼小接続カリキュラムの実施、改善支援を行ったことにより、県全体で質の向上を図るとともに保幼小接続カリキュラムの実施・改善を推進した。また、就学前の非認知能力育成支援については、就学前の子どもの非認知能力の伸ばし方を学ぶための講座を開いた。

6 今後の施策推進に向けての課題

幼稚園教育要領等を踏まえた教育実践や、それを支える研修をより多くの者が参加できるように研修形態等を工夫して実施するなど、就学前教育のさらなる質の向上に向けた取組等の充実が必要である。また、就学前の非認知能力育成支援については、非認知能力育成支援プログラムを市町村やNPO等に周知していくとともに、プログラムを実施できる指導者を増やしていく必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 高校教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム		
施策名	【推進】高等学校における学力の向上		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	学校の授業以外で平日に「全く又はほとんど学習しない」高校3年生の割合	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	17.2	16.4	15.7	15.0
現況値	18.8% (2019年度)	実績値	15.0	13.0		
目標値	15.0%	達成率	※114.6%	※126.2%		
備考		達成度	4	5		

3 関連する事業名

- ・ 高校生の学力状況の分析
- ・ 合同学習合宿の実施

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

これまでの取組で整理された課題を踏まえ、「高校生のための学びの基礎診断」の結果を基にした各校の学力分析や合同分析会における県内外の好事例の共有、年2回の指導主事による学校訪問での授業参観、指導助言等の授業改善に係る取組により、スタディサポート等の調査結果による成績下位層の学年進行による増加割合の減少や授業以外で全く又はほとんど学習しない高校3年生の割合も減少するなど、一定の成果が見られた。

6 今後の施策推進に向けての課題

授業外における学習時間は、依然として二極化傾向にあり、基礎基本の定着に向けた学習時間の改善等において課題がある。また、学年進行に伴い、成績下位層が増え学習時間が短くなるなどの課題も見られることから、引き続き、合同分析会で各校の取組の普及や学力分析のフィードバックを行うとともに、年2回の指導主事による学校訪問の機会を活用して、各校の授業改善に係る課題を的確に把握し、1人1台端末の効果的な活用による授業と家庭学習を一体的に考えた授業改善の取組を図っていく必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 生涯学習課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム		
施策名	【推進】家庭・地域の教育力の向上による、子どもたちの生活習慣と学習習慣の定着		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	家庭教育企業出前講座実施数(累計)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	13	23	33	43
現況値	57件(2019年度)	実績値	10	24		
目標値	100件	達成率	76.9%	104.3%		
備考	2022年度:81件(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	2	4		

3 関連する事業名

- ・おかやま子ども応援事業
- ・生き生きおかやま家庭応援団事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

家庭教育企業出前講座について、様々な機会や場を活用して繰り返し周知することで、目標値を上回る14件(累計81件)で実施することができた。また、14件中8件が新規の企業であり、幅広い参加者を対象にした事業実施にもつながった。実施後のアンケート調査では、肯定的回答(大変参考になった・参考になった)の割合が約94%であり、参加者の子育ての不安や悩みの軽減や家庭での教育力の向上につなげることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

他課と連携しながら県内の企業に対する広報を積極的に行い、新規実施企業を増やしていくとともに、過去の実施企業に対しても継続的な実施を呼びかけることで、実施企業数を確保していく必要がある。また、事業の趣旨やメリットがより伝わるようチラシやホームページの内容を検討していく必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 教育委員会 生涯学習課
重点戦略	I 教育県岡山の復活
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム
施策名	【推進】地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	地域学校協働活動推進員を委嘱している市町村数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	9	12	15	17
現況値	8市町村(2019年度)	実績値	11	13		
目標値	25市町村	達成率	122.2%	108.3%		
備考	2022年度:21市町村(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	5	4		

3 関連する事業名

・おかやま子ども応援事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

地域学校協働活動の体制づくりを推進するため、地域学校協働本部の整備や活動に対する補助事業を実施し、23市町村が活用した。また、教育事務所と連携し、市町村担当者や学校関係者、地域住民等に対して、地域と学校の連携・協働の重要性や、地域学校協働活動推進員の必要性を伝える研修会を開催し、延べ1,337名が参加した。地域と学校の連携・協働についての理解が進み、地域学校協働活動推進員の委嘱につなげることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

地域学校協働活動推進員の委嘱のためには、市町村担当者の理解が重要となるため、市町村担当者の理解をさらに深めることができるよう働きかけていく必要がある。また、地域と学校の連携・協働により、自立的・継続的に子どもを取り巻く課題を解決していくために、実態把握や課題分析、委嘱済み市町村を含めた伴走支援を進めていく必要がある。また、地域と学校が連携・協働した県内の好事例を広く紹介し、地域と学校の連携・協働の重要性や、地域学校協働活動推進員の必要性を訴えていくことが必要である。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 特別支援教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	学ぶ力育成プログラム		
施策名	【推進】特別支援教育の充実		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	居住地校交流を実施した児童の割合 (小学部)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	38.0	39.0	40.0	41.0
現況値	36.8% (2019年度)	実績値	38.8	44.0		
目標値	41.0%	達成率	102.1%	112.8%		
備考		達成度	4	4		

3 関連する事業名

・小中学校等におけるインクルーシブ教育システム構築支援事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

特別支援学校においては、副次的な籍（交流籍）を導入し、2022年度からは岡山県全域を対象に拡大し、居住地校に出向いての交流が難しい場合はオンライン等を利用した居住地校交流を行った。また、インクルーシブ教育フォーラムの開催や交流籍を活用した居住地校交流実施ガイドの活用等により普及促進を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

特別支援学校の保護者の中には居住地校交流について理解が得られていない保護者がいたり、小学校で居住地校交流の意義や目的についての理解が進んでいない状況があることから、リーフレットやガイドを活用し、居住地校交流の推進及び交流籍の理解促進を図る必要がある。さらに、障害のある児童生徒等と障害のない児童生徒等の相互理解を進めるため、近隣の学校間での交流活動だけでなく、交流籍を活用した居住地校交流を全県において実践する必要がある。